

遮水シートスパーク検査概要

遮水シートの裏面の導電層に - 極であるラバーパットを当て、検査する箇所のシート表面を + 極である真鍮ブラシでなげることにより損傷箇所があるとそこに電気が流れブザーで知らせる。検査機は充電式で肩掛式のため、検査は容易に実施できる(図1、2参照)。

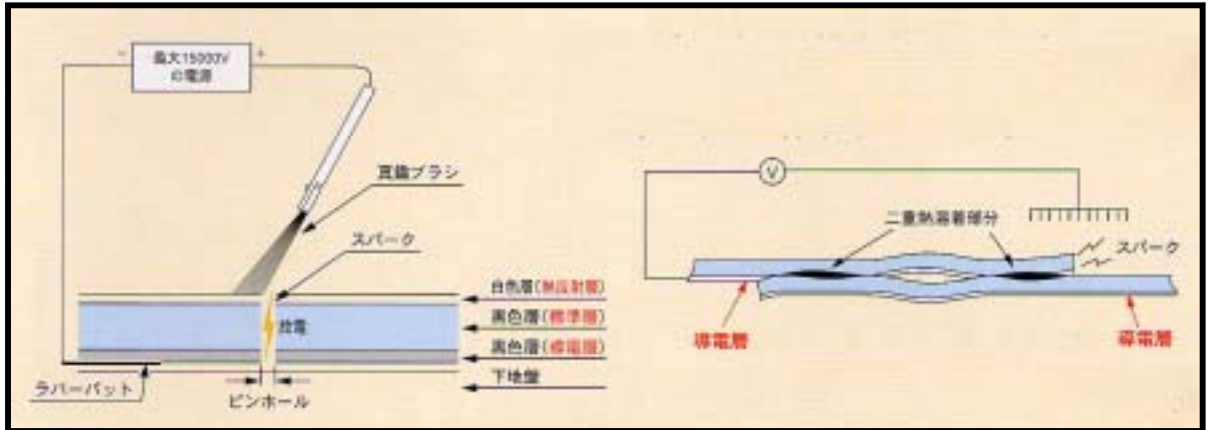


図1 スパーク検査概要図

スパーク検査は非破壊検査で、シート施工中の溶着検査、施工完了後及び埋立前の検査確認ができ、従来の検査方法の吸気検査では、困難な凸凹部や構造物周りの加工部の母材、接合部の検査が容易に行える。



図2 スパーク検査状況

当処分場では埋立の直前(遮水シートに廃棄物が被さる前)に漏水箇所がないか検査を行ってから埋立を行っています。